

手づくり

ロケットストーブワークショップ

in 手のひらに太陽の家

ロケットストーブとは、

1980年代にアメリカの環境NGOのディレクター、ラリーウィニアルスキー博士が、発展途上国の木質燃料軽減のために開発した新しい原理の置きかまどです。

作り方はとてもシンプル。

一斗缶とストーブ用のステンレス製L字型煙突、断熱材があれば作ることができます。

使い方も簡単で、薪を入れおけば自動的に燃え続け、初心者でも簡単に扱うことができます。

災害時・非常時にロケットストーブが1台あれば、湯沸かし・調理から暖房まで行うことも。作ったロケットストーブはお持ち帰りいただけます。

この機会にぜひ、ご参加下さい。

↓ロケットストーブ（一斗缶）



■講師■

株式会社銀河自然学舎
紺野 祐樹さん

1973年 宮城県女川町生まれ航空自衛隊勤務を経て、2000年7月よりシーカヤックインストラクター・ガイドを始める。東日本大震災後は、(株)銀河自然学舎でカヌー事業を展開。日本セーフティーカヌーイング協会 シーカヤックインストラクターⅡ 全国森林レクリエーション協会 森林インストラクター自然体験活動推進協議会 コーディネーター



■日時・・・2014年1月20日（月） 10時～13時

■ワークショップ内容・・・

●10時～12時…ロケットストーブ作り

※作ったロケットストーブは持ち帰ることができます。

●12時～13時…お昼ごはん

→自作ロケットストーブでかき卵うどん作り

■場所・・・手のひらに太陽の家

宮城県登米市登米町寺池辺室山17-1

■参加費・・・4,000円

■申し込み・お問い合わせ先・・・手のひらに太陽の家

☎0220-23-9755 メール info@taiyounoie.org